



テクノロジーで人の身体能力を高める『人間拡張工学』の第一人者

京都橘大学 客員教授、東京大学 先端科学技術研究センター副所長・稲見昌彦氏が登壇

「超人の作り方：人とテクノロジーの新しい関係性」を学ぶ特別講義を実施

日時：2026年7月29日(水) 9:00-10:40

場所：京都橘大学 アカデミックリンクス H401教室

対象：工学部 ロボティクス学科 1回生

京都橘大学（京都市山科区、学長：岡田知弘）では、7月29日(水)、本学客員教授でありテクノロジーで人間の身体能力の拡張をめざす「人間拡張工学」の第一人者・稲見昌彦氏（東京大学 総長特任補佐・先端科学技術研究センター 副所長 / 東京大学大学院情報理工学系研究科 システム情報学専攻 教授）による特別講義を、工学部ロボティクス学科生に向けて実施します。

稲見氏は、人と機械が「人機一体」となることで人間の能力拡張を目指し、SF映画『攻殻機動隊』に着想を得た「透明マント」や、「第3、第4の腕」など、ユニークな開発を牽引されてきました。「超人の作り方：人とテクノロジーの新しい関係性」をテーマに、最先端の「人間拡張工学」や「自在化身体」の研究内容、誰もが身体的制限を超えて競い合える「超人スポーツ」といった具体的な社会実装の事例を交えながら、テクノロジーが人間の身体や感覚の一部として融合していく未来について講義いただきます。講義を通じて、技術がもたらす新たな社会のあり方や、人とテクノロジーの調和が生み出す可能性について考える機会にしたいと考えています。

本学では、第一線で活躍する研究者や実務家による講義を通じて、今後も学生が最先端の知見と現実社会との結びつきを学ぶ機会を提供していきます。

【特別講義 開催概要】

開催日：2026年7月29日(水) 9:00-10:40

場所：京都橘大学 アカデミックリンクス H401教室

登壇者：稲見昌彦氏（2026年度京都橘大学客員教授 / 東京大学 総長特任補佐・先端科学技術研究センター副所長 / 東京大学大学院情報理工学系研究科 システム情報学専攻 教授 / お茶の水女子大学 基幹研究院自然科学系 教授 / 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 客員教授）

【登壇者プロフィール】

●稲見 昌彦（いなみ・まさひこ）氏
博士（工学）。1972年、東京生まれ。
2026年度京都橘大学客員教授 / 東京大学 総長特任補佐・先端科学技術研究センター 副所長 / 東京大学大学院情報理工学系研究科 システム情報学専攻 教授 / お茶の水女子大学 基幹研究院自然科学系 教授 / 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 客員教授



●専門：人間拡張工学、身体情報学、バーチャルリアリティ、拡張現実感

●研究概要

物理世界とバーチャル空間が共存する高度情報化社会にふさわしい身体像として、「自在化身体」を追究する。ウェアラブル技術、ロボット技術、バーチャルリアリティなどを駆使した人間拡張および自在化技術の研究開発、社会実装に取り組む。これまでに、SF映画「攻殻機動隊」をヒントに考案した「透明マント」や、「第3、第4の腕」などユニークなデバイスを多数開発。『JST ERATO 稲見自在化身体プロジェクト』では、リュックのように背中に背負える人機一体のロボットアームユニット「自在肢（JIZAI ARMS）」を発表。

●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当：立木、前川 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp